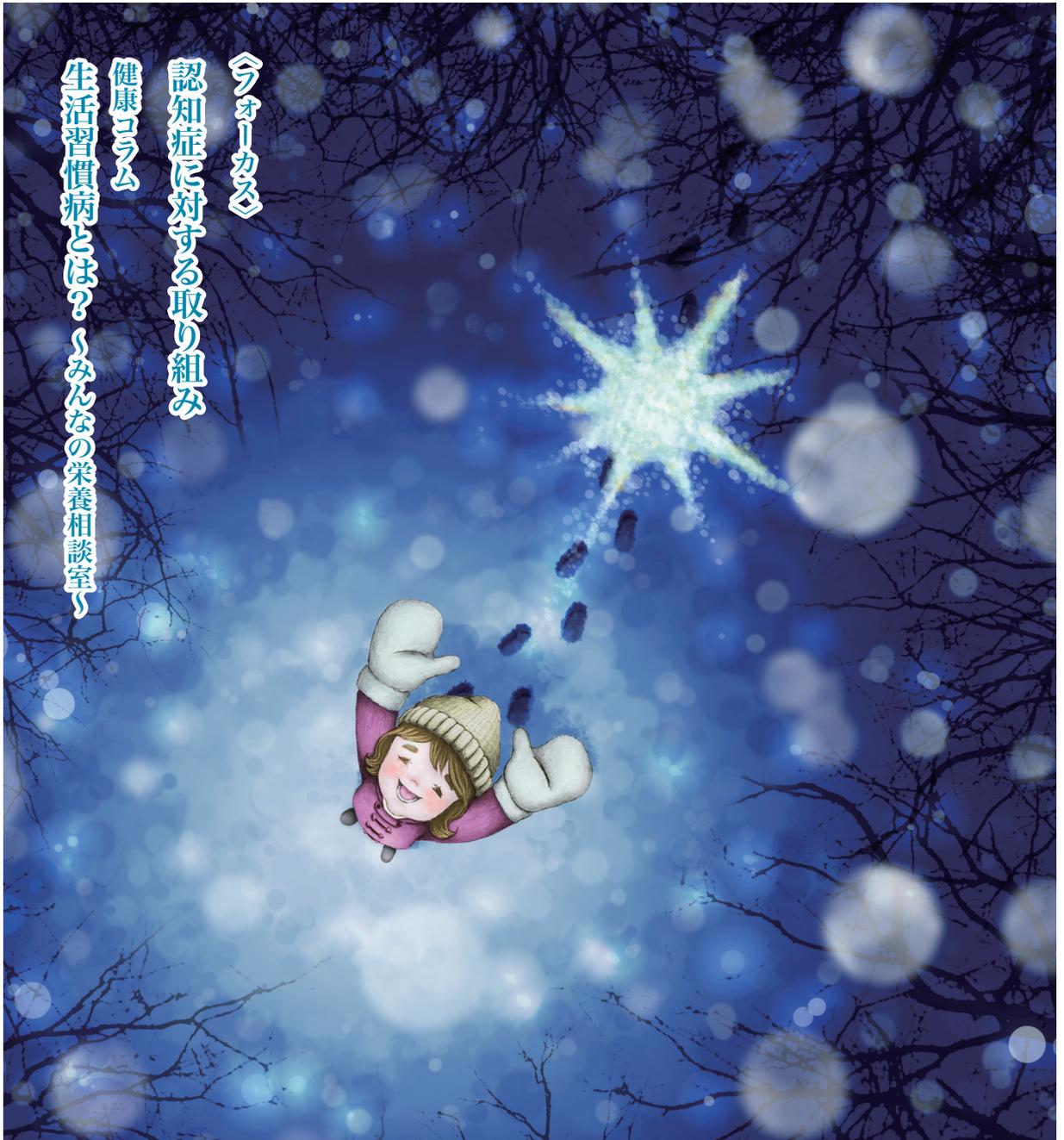


いちばん ぼし



ラフォーカス

認知症に対する取り組み

健康コラム

生活習慣病とは？ ～みんなの栄養相談室～

認知症 に対する取り組み



「昨今、社会的にも注目されてきている認知症。今回は、当院で認知症ケアに力を入れている精鋭達をお招きし研修で学んできたことや日頃の業務内で配慮していることなどを座談会で話していただきました。」

参加者

● ユマニチュードチーム

岡山副主任 西野 C W 四戸 C W

● 身体拘束委員会チーム

総名主任 品部 N S

● 認知症ケア加算チーム

田中 中科长 大場主任 緒方 N S

柳谷 N S

取材 中岡編集長 河端 棟方 谷内

(敬称略)

中岡「この度、認知症ケア加算に向けてチームが発足したので、ユマニチュードチームと身体拘束委員会とタイアップして今後の認知症患者さんへの対応や工夫について話し合ってみようと思います。」「なぜ今認知症が話題になっていると思いますか？」

田中「認知症高齢者が急速に増加している事ですかね。」

中岡「実際病院ではどう？」



田中「多いですね。入院当初は自宅に退院する予定だったけれど、退院となった時に認知症が進んでしまい自宅に帰れなくなってしまう方もいます。認知症自体が治るものではないから、進まないように出来るだけ早く退院させてあげられるように、という目標に焦点が当たっている。」



中岡「高齢化が進んでるといふことやつぱり生活習慣病が増えて脳血管疾患が増えていることで、認知症状を持つ方が増加している。今までは認知症になる前に亡くなる方もいたけど、長生きするようになってきたというのもあると思う。日本は超高齢化社会だから、システムが追い付かないという現状もある。でも世間で注目される前から、当院の特徴として高齢者の入院が多いから、認知症を思わせる患者さんも多かったよね。」

「これまで認知症のケアに関してきちんと対応出来ていたか、というところを聞かせて欲しいな。」

品部「出来ていたか、と聞かれると出来ていない部分も多いです。特に2階は急性期病棟ということもあって疾患の治療が重視されることもあります。疾患に伴う一時的な低下なのか、本当に認知症なのか区別がつきにくいところもあるの



で、どうしても疾患の治療を優先してしまうのも現状です。」

中岡 「夜勤情報で、患者さんが一晩中寝なかつたとかは、よく聞くもんですね。」

鮫名 「夜勤の話聞けば大変だったね、と看護師側の思いで聞いてしまうこともあるんですけど、研修を受けてどうしようという行動が起きるのかな、と看護師同士で話したり、行動のメカニズムが分れば認知症の方への考え方が変わったりにして、薬ではない他の方法もたくさんあるんだな、と感じます。…と思いがながらもなかなかケアに結びつけられていない現状もあります。」

田中 「夜中、不穏で暴れたとの情報があると、朝先生に相談して薬を出してもらうことになったり、夜しつかり眠れるように日中ずつと車椅子に乗って詰所いしてもらうとかね。パターン化されてしまつて。眠剤を使うと、朝まで残つてしまつてご飯が食べれなくなつたりして…」

中岡 「医療者の目線から患者さんを見てしまうと悪循環が起こつてしまうこともあるかもしれないけど、ユマニチュードの技術を学んでからはどう？」



岡山 「自分の中では『ゆつたり・ゆつくり』患者さんに接するように心がけてます。介助者に余裕がないとついつい否定的な言い方をしてしまうこともあるので、自分の対応も常に誰かに見られているんだな、と思いがながら気をつけています。」

棟方 「関わりの工夫で患者さんの反応として変わったなと実感したことはありますか？」

緒方 「手が出たりとか攻撃的な方が、薬を出してもらつたわけではないのに、こちらからの声掛けで暴言が減つたりとか。」

中岡 「抵抗するっていうのは防御反応だよね。ユマニ的にいうと私たちがケアとしてしようとしていることが患者さんに理解してもらえていないから、防衛のために暴力として出ている。きちんと話して、相手が理解してくれば協力動作が得られるんじゃないか、というのがユマニの考え方だし。人に馴れることが大事つてことだね。」

岡山 「お互いに顔見知りになつたんだと思う。患者さんも、ケアする人を傍にいてくれる人だと認識して『なじみの関係』になつたから。」

西野 「実際にオムツ交換する時も、今まではすぐに手が出た患者さんも『これからおむつ交換しますよ』と目線の先に移動して、ゆつくり言つてから始める、言つたことが伝わるんですよね、手をはねのけることなく交換できたという例もありました。」

中岡 「認知症の方に限らず高齢になると耳が聞こえにくかつたり視野も狭かつたりして言つたことを理解するまでに時間がかかる方もいるから、声掛けして伝わつたと思つてケアをすると拒否されたり抵抗されたりしてしまうよね。理解に時間がかかることを頭に入れて対応すれば





スムーズに
できること
もあるって
ことだね。
それでもど
うしてもダ
メな時もあ
るけれど。

何気なくしていることをテクニクとしてみんなが気づけると、介助者も苦勞なく忙しい中でも上手く対応していけそうですね。」

中岡 「よく転院してきた方とか、環境が変わったことでより認知症の症状が出てきてしまった対応に困ることもあるかと思っただけで、そういう経験はありますか？」

田中 「4階では、退院が決まった後、早めに伝えてしまうと不穩になる方が多いですね。落ち着きがなくなったり、興奮してしまったりして。」

緒方 「自分で帰り支度をしようとして早くから準備したり、退院日が分からなくなつて混乱したりとか。逆に病院に追い出されるのだと思つて不安になる人もいますね。」

中岡 「他には？」

品部 「一晩中歩き続けた方とか…」

中岡 「それは何でだったの？今思うと。」

鮫名 「家に帰れたかったからでしたね。」

中岡 「今こうやってケアの研修も行ってと思うけど周りの雰囲気とかも変わってききましたか？」

田中 「(異常行動に対して) 何か原因があるのかな、と考えるようになったね。」

鮫名 「オムツいじりをしてしまう方に対して、オムツがぬれて不快で触つてしまふのかな、と取り換える回数を増やしたりするようにしましたね。」

中岡 「そういうのつてみんな意識してるの？」



鮫名 「してますね。オムツ板(オムツを取り換えた回数を記録するもの)も変えたり。交換する人が『オムツいじりがある方だ』と分かりやすいようにして、交換の回数を追加してスタッフの周知が来てきたかなと。」

中岡 「実際に効果はあったの？」

鮫名 「そうですね。ロント(オムツを触らないように上下つなげた服)やめられたとか。」

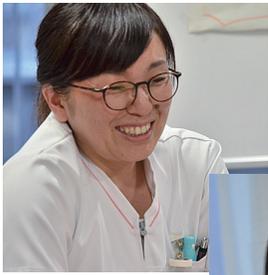
中岡 「それはすごいね。今までは、先生に相談して薬やロントで対応していたのが、行動の原因を探ることで、自分たちでできることをやってみようと思えるようになってきた、と。小さな積み重ねが計画に反映されたり、患者さんにプラスになっていくといいよね。」

中岡 「何か一つ出来るとしたら実践してみたいことありますか？」

鮫名 「つい認知症の方に対して『今日何日?』とか『今何時?』とか聞いてしまいがちだけど、見えるところにカレンダーや時計を一人ひとつ設置するとか。見えるところがないと、やっぱり自分でも答えられないから不安だと思うし。」

柳谷 「朝、今日はクリスマスですね、なござりげなく話題にするとか。」

田中 「日にちを聞くのは良くないらしい



ですよ。『何日ですか?』『ブー!違います』つていじめじゃないんだから(笑)。答えられなくて不安にならないように、さりげなく気づかせてあげればいいんだよね。」

四戸「ご飯とかも夜なのに朝ごはんかい?という人もいるよね」

中岡「そういう時も否定しない方がいいの?」

品部「昼なら、『昼ごはんですよ』とかって言いながら配膳するようになりましたね。」

中岡「意識してるんだね。じゃあ小さなことでも声を掛けることで出来ることがあるってことだね。ゆとりがなくても忙しくても声掛けなら続けられそうだね。他には?」

緒方「患者さん同士で顔見知りを作ってコミュニケーションの場を作るのいいと言った。みんなで何かを作ったりとか。ちょうど今3階でやってるレクとかホクマンキッチンとかがいい例なのかな。3階から調理のいい匂いがしてきたり楽しそうな声が聞こえてくると、他の階でもよく話題になるし。」

中岡「やっぱり昼食の時とかも、デイルームで決まった時間にいつも集まると、顔なじみができて、患者さん同士会話が始まるよね。それが例えば、会話のつじつまが合っていないなくても、コミュニケーションをとっていると元気になるよね。」

中岡「これから、認知症に対する院内の勉強会はしていくんでしょ?」

緒方「1年に1回。予定しています。」

緒方「ケアなど援助についてはもちろんのこと、薬についての知識も今後もつとつけていく必要があるかな、と思います。」

品部「薬を使うタイミングや薬効とかをもっとみんなで確認していけたら。」

中岡「成功例を積み上げていく必要があるよね。こういう認知症状が出た人には、こんなことをしたら効いたよ、とか。薬が上手くいって症状が落ち着いたよ、とか。薬に限らず、環境面の工夫で

も。周知していきたいよね。」「では、みなさん貴重なお話、どうもありがとうございます。ありがとうございました。」

今回は、当院で認知症ケアに携わるみなさんにフォーカスいたしました。日頃の激務の中で、研修で得た知識を反映しにくい現状と闘いながらも、たくさんの工夫や配慮を盛り込んで、よりよいケアを作り上げることがわかりました。みなさんの努力と知識が多く職員に共有され、北星病院の温かいケアの一部となることを予感する一日となりました。

文責 棟方



TRUMP ODANI Farewell Party
feat. HILLARY NAKAOKA



We sincerely appreciate
your cooperation so far.
We pray for your success.

※小谷先生はワシントンDCへ留学されます。今後の先生のご活躍を祈念いたします。

北星館スタイル
おすすめファッション～2017冬～



TOPS

- ストレッチ素材
- 襟口が広いもの
- ×ボタンや紐(麻痺患者)

PANTS

- ストレッチ素材
- ウエストゴム
- ×チャックやボタン式(麻痺患者)

SHOES

- かかどがしっかりしたもの
- 自分で着脱しやすいもの
例)マジックテープなど
- ×サンダルやスリッパ

Model : Daisuke Sawada
Photo : Kanae Taniuchi
Produce : Arata Kawabata
Presented by: Iwama, Ogawa

健康コラム新シリーズ第1回

生活習慣病とは？ ～みんなの栄養相談室～

生活習慣病の共通問題点とは 簡易的動脈硬化症の見つけ方 探検！あなたのからだ会社診断

※食べたい物を！ 長～く！！美味しく食べるために・・・！

ご希望に応じ栄養相談開催中！栄養科まで

生活習慣病のイメージ

レベル1

- 不適切な食生活 (朝食～昼食～夜食の過剰等)
- 身体活動・運動不足
- 喫煙
- 過度の飲酒
- 過度のストレス

レベル2

- 肥満
- 高血圧
- 高血脂
- 肥満異常

レベル3

- 肥満症 (特に内臓脂肪型肥満)
- 糖尿病
- 高血圧症
- 脂質異常症

レベル4

- 虚血性心疾患(狭心症・心臓病)
- 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
- 糖尿病の合併症(失明・人工透析等)

レベル5

- 心不全
- 腎臓病
- 日常生活における支障
- 認知症

問診チェック

- 子供の頃より運動量は減った？
- 自由に好きな食べ物を選べる環境にある？
- 飲酒や喫煙(副流煙)環境にある？
- 洋食を週3回以上は食べている？
- 毎食、生野菜を摂取していない？
- 袋菓子やパンを週2回以上は食べる？
- ナッツ類やドライフルーツをよく食べる？
- チーズや珍味は週1回は食べている？

生活習慣病といっても、該当する病名は沢山あり、境界型、予備軍の方も多く該当します。要因の1つとして、幼少の頃と異なり、運動量が減少、その他にも年齢を重ねるにつれ、消化酵素(食べ物を分解する力)や代謝酵素(食べ物をガソリンにする力)は減少します。年1回定期健診を受けると去年と異なり「少し体重が増えた」「少し血圧が高くなった」こんな“症状”を経験したことはないでしょうか？この症状の頃が「レベル2」。歯科検診に例えると「歯石をとるレベル！」100人いれば100人全員が通院しているとは限りません。ここから、10年位かけて少しずつ身体の中は傷んでいきます。歯痛なら皆さん直ぐ気づきますが、“血管が痛い”ってあまり聞かないですね。(辛抱強い子です笑)生活習慣病は、簡単にいうと“血管がなんらかのトラブルを抱えている状態”です。病名がつくと、「レベル3」です。レベル3になると、身体の中では、どんな事が起こっていると思いますか？人間は、身体の中に冷凍冷蔵庫(肝臓)とリサイクル工場(腎臓)をもっています。そして、車がガソリンで動くように人間の身体もガソリン(材料：黄青緑)がないと動きません。



編集長 なかおかたかこの

昨年大好評だったこの企画
今年は、大人スーツスタイルに挑戦!

Let's try ~着こなし上手~

まつむら つよし Vol2



いろいろ
試着しているよ!

うん!
いいねえ~!

スーツ renomaチェック柄
ワイシャツ 普段は着ないピンク
ネクタイ ネイビーお花柄

おしゃれ!
renoma!



TSUYOSHI
MATSUMURA



どれが
いいかしら~



スーツ選びてむずかしい!!
でもネクタイやシャツで印象が変わり、
ますます素敵になりました。
画像では分かりにくいのですが、シャツはピンク。
この時、実はブルーも購入していました。(先生自ら)
どちらも今回選んだネクタイとバッチリ合うので、
どンドン着てほしいなあ!
洋服って着ることによって、ますます自分に
合ってくると思います。



私の
記念撮影も
忘れずに

2016年忘年会 決まっています~





いずみ会忘年会 2016.12.16
in ANA CROWNEPLAZA CHITOSE



レクっこ田中の たのしいレクリエーション



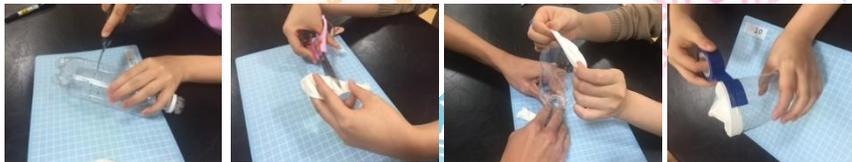
今回の
鉄板レクは
射的☆

オススメ★鉄板レク★



鉄砲の作り方：

- ①空の500mlペットボトルを下1/3で切る
- ②ゴム風船を先端から5cmくらいで切る
- ③風船の切り口を開いて、ペットボトルの切り口を覆うようにかぶせる
- ④風船が外れないようにビニールテープで止める



玉の作り方：厚手のスポンジをペットボトルの飲み口の大きさに合わせて丸く切る

的：厚紙を切って半分に折り、裏に点数を書いています
的の絵は、、スタッフの写真です☆



ルール（個人戦）

- ・的を狙って1人5射する
ペットボトルの飲み口に玉を軽く積み、
風船を引っ張って的进行する！
- ・倒れた的の得点を合計して、上位三名を決める



レクを盛り上げるコツ！

司会として、レクを進行するのは緊張しますよね。（私も今でも緊張します）
レクリエーションを成功するには、司会の方だけでなく、周りの協力やおはやしも大切です！
進行役である私たちが楽しくなければ、患者様も楽しんでくれません！
この時間だけは我を忘れて、楽しみましょう☆

ホクマンくんがゆく

第3の刺客、ホクざえもん見参！の巻

ついに現れたホクマン溪谷からの第3の刺客、ホクざえもん。噂によると診療報酬の専門家であるらしく、メガネにあごヒゲがトレードマークの彼は某医事課係長にソックリ。コツコツと北星病院のブログ更新を頑張っているホクざえもんの活躍をご紹介します。



ホクざえもんプロフィール

- 出身地) ホクマン溪谷
- 必殺技) 診療報酬☆斬り
- 好物) お酒
- 仕事) ホームページ・ブログ更新
診療報酬に関する相談

ホクざえもんといえはブログ更新。病院内のあらゆる情報に目を配り、切れ味抜群のブログを連載中！今後もホクざえもんのブログにご注目ください。

ホクざえもんさんの思ひ出

拙者は昨秋、医事課の道下殿と一緒に四国を訪ねてまいった。瓦屋根の街並み、城があちこちに残る武士の心うづく素敵な地でござった。「なにゆえ四国へ？」そうお思いの方もいらっしやるかもしれませぬな。

実は、BHIデザイン賞WEB部門優秀賞（左写真）の授賞式も兼ねて、「HISフォーラム2016 in 四国中央」に参加してきたのでござる。フォーラムでは広報に関する様々な取り組みの演題発表や広報誌の展示、伊右衛門等をデザインした売れっ子先生の講演を聴いてきたでござる。（ブログより一部改変し引用）



ホクざえもんさん！
これからもよろしくね〜♪
みんな！僕のブログも楽しみにしててね〜♪



ですわ♪



TOMO'S キッチン



医事課 Ito Tomonoriが
“僕”がバレンタインデーにもらいたい
チョコレートスイーツをご紹介します。
今回はガトーショコラのバナナムース添え！
では、早速作っていきましょう！



- ① バターをレンジで溶かしておく
- ② 鍋に生クリームをいれ、沸騰させないくらいに温め、チョコレートを溶かして混ぜる
- ③ 卵黄にグラニュー糖を加え、白っぽくなるまで混ぜる

④ ②と③を混ぜ、薄力粉を振りながら混ぜ
最後に溶かしバターを加える



⑤ バターを塗った型に方に流し入れて、
160℃に予熱したオーブンで20分焼く



⑥ 粗熱をとり、冷蔵庫で冷やす

⑦ バナナムースを添え粉砂糖を振り出来
あがり。バナナを添えるといい感じ。

ガトーショコラ	
バターチョコレート	75g
生クリーム	75g
卵黄	2個
グラニュー糖	40g
バター	25g
薄力粉	20g
粉砂糖	適量

ガトーショコラ



ガトーショコラの バナナムース添え



バナナペースト

バナナムース

バナナ	2~3本
レモン	½個
生クリーム	200cc
砂糖	50g
ゼラチン	5g
牛乳	100cc
ブランデー	少々

- ① ゼラチンパウダーを水大匙1でふやかしておく
- ② バナナの皮を剥きフォークで潰しレモンを振りかけておく



③ レンジで牛乳を温め、そこに①を入
れゼラチンを溶かす

④ ②と③をミキサーにかけてからブラン
デーを加え、とろみが付くまで冷ます

⑤ 生クリームをボールに入れ砂糖を加えてハンドミキサーで
泡立てる（冷ました状態の④と同じくらいの堅さにする）

⑥ ④と⑤をよく混ぜ、冷蔵庫で冷やし固める



★チョコレートやココアの原料、カカオ★

カカオポッド:
カカオの果の外側部分
硬い殻で覆われている



パルプ: 甘く白い果肉に包まれた
30~40粒のカカオ豆が入っている

★カカオ豆に含まれる脂肪部分は、
ポディークリームや石鹸に利用さ
れていることもあります



★カカオ豆に含まれる栄養素と効果・働き★

- ①体の機能維持や調節に不可欠なミネラル(カリウム・カルシウム・マグネシウム等)
- ②**テオブロミン:** チョコレートの香りや苦味成分。血流を良くし、緊張を緩める働きがある。

カカオポリフェノール

期待される主な健康機能

- *認知症予防
- *動脈硬化のリスク低減
- *血圧低下
- *善玉コレステロール値の上昇
- *精神的・肉体に活動的になる

カカオプロテイン

期待される主な健康機能

- *便秘改善
- *排便回数増加
- *便色の改善
- *便量の増加
- *腸内フローラの変化

★食べるポイント★

様々な働きがあるカカオですが、チョコレートやココアを食べ過ぎると糖分や脂肪分も多くなりかえって肥満や生活習慣病を引き起こしかねません。

ココア
1日1杯(純ココアで
約5~10g程度)



ビターチョコレート
(カカオ分40%以上)
1日5~10g程度

*カカオ分が高いほどカカオポリフェノールが豊富!チョコレートなら、カカオ分70%以上の低糖のもの、ココアなら純ココアがおすすめです。
ホワイトチョコレートにはほとんどカカオポリフェノールは、含まれていませんのでご注意ください。

【参考・引用文献】

- ・チョコレート大研究 日本チョコレート・ココア協会 2007.2.1 PHP研究所
- ・<http://www.chocolate-cocoa.com/> 日本チョコレート・ココア協会ホームページ
- ・<http://www.meiji.co.jp/chocohealthlife/> 明治ホームページ

[シリーズ]マイタウン施設探訪 行って来ました!

第7回 「ナーシングホーム」

平成28年11月にオープンしたばかりの「ナーシングホームゆうしんかん」千歳市内初となる、ナーシングホームとは一体どのようなところなのか、取材をさせていただきました。



居宅介護支援事業所、訪問介護、訪問看護、デイサービス、定期巡回随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、住宅型有料老人ホーム等、数多くの介護サービスを提供している、ゆうしんかん。

平成28年の11月「ナーシングホームゆうしんかん」25床が開設され介護度が高い方、医療的ケアの必要な方の入居が可能となっています。

今までは、胃瘻や喀痰吸引、点滴等の処置があり、入院の継続が必要となっていた患者様が当院にも多くいらっしやいました。

今回のナーシングホーム開設により医療ニーズが高くなっても、施設(在宅)で生活を送ることができるようになりました。

訪問診療や訪問看護等の医療系サービスの導入により、希望があれば、最後まで生活することもできます。実際に、ナーシングホームで最期の時を迎えられた入居者さんもうっしやいました。

これからの人生をどのように過ごすのが最期の時をどのように迎えるのが、自分自身で選択できる環境が、千歳市でも整ってきています。



浴室
シャワーキャリーで入浴可能



外観
生活しやすい平屋造り



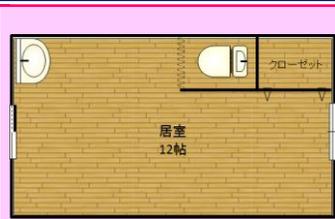
共同スペース
広い窓が開放的



**併設！居宅介護支援事業所
ゆうしんかん・らいふ**



再会♡
当院に入院されていた患者様も生活されていました



居室
お部屋は広々12帖！



気になるポイントをご紹介するわよ〜♡

ほくみんちゃんの チェックポイント！



Check1

どんな人が入れるの〜？

- ★要介護3以上の認定を受けている方
- ★全介助レベルの方も入居可能
(24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの利用)

Check2

料金はどれくらいかかるの〜？

家賃	60,000	★敷金	家賃2ヶ月分
共益費	15,000	★生活保護受給者	の方にも対応
管理費	30,000	★介護保険サービス料	医療費等別途必要となります。
食費	30,000		
合計	135,000		

Check3

医療行為ってどんなことができるの〜？

◎(可能)	○(相談必要)	
24時間サクション	在宅中心静脈栄養	★医療的ケアの研修を受けた介護職員が 24時間365日常駐
胃瘻	経鼻経管栄養	★看護職員は24時間オンコール対応
在宅酸素	血糖測定	
尿道留置カテーテル	△(要相談)	★この他、難病患者さん等の入居の ご相談も可能
人工肛門	インスリン注射	
膀胱瘻	気管切開	

Check4

どんなサービスが受けられるの〜？

★定期巡回・随時対応型訪問介護
必要なサービスメニュー(おむつ交換や体交、体調管理等)を検討し、ケアプランを作成。ケアプランに沿って、短時間の定期巡回サービスが提供されます。さらにサービスが必要な時には、随時対応が可能。(居室にコールを設置)このサービスの利用により、全介助レベルの方でも、在宅扱いのナーシングホームでの生活が可能となります。この他、デイサービスやデイケア、訪問リハビリ等のサービスも併用ができます。

※従来の決められた日時にヘルパーさんが訪問する訪問介護とは違い、定期巡回・随時対応型は、短時間のサービス提供が可能となり、1日に複数回の訪問を受けることができます。(必要なサービスを必要なだけ、調整できます。)

【介護・看護料金】

要介護3	19,696
要介護4	24,268
要介護5	29,399

サービスは何度利用しても、月々の負担は
定額！

冬のいちばんぼし



背筋をのばし、ハツラツとした姿で受付に立っている樺澤さん。受診者の方々への丁寧な対応は見えていても気持ちが良く見習いたいものです。今回は健診センターのニューフェイス、樺澤さんにズームイン！



☆どのような業務をしているのですか？

健診の内容を事前に確認し、準備をしておきます。当日は受付、検査の案内、健診票の確認や記入などをします。院外にもバス健診や、検体の回収に行ったりもします。

☆座右の銘

森 信三『人間は一生のうち逢うべき人には必ず逢える。
しかも一瞬早過ぎず、一瞬遅すぎない時に。』

前職で全国を転勤し多くの出会いと再会を経験。常に親切丁寧に接していれば、どこかで再開した時に助けてくれるんです。逢うべくして逢っている人たちがいる。だから人との出会いを大切にしたい。

☆自分について一言

新しいことに挑戦したいと常に思っています。仕事はまだ半分ほどしか覚えていなく、わからないという事が一番大変なので、まずはそこをクリアするために頑張りたいです。

♡趣味♡

バイク・ドライブ・フルーツカービングなど



★読者の声★

早いもので、今月号で発刊より約2年が経とうとしているよ～。日頃から「いちばんぼし」を愛読してくれているEさんに、読者代表としてアンケートに答えてもらったよ～。

Q. 院内広報誌「いちばんぼし」を知ることになったきっかけは～？

A. 病院のスタッフから教えてもらいました。

Q. 印象に残っている記事は～？

A. 「みちしたたかひろの診療報酬」の記事です。こんな事まで考えて普段仕事をしているんだと感心しました。

Q. その他、何か意見や感想はある～？

A. 最初は院内だけの小さな広報誌だと思っていましたが、編集長がいて責任を持って発行しているところがとてもいいと思います。号を重ねるごとに内容が面白くなっているの、これからも楽しみにしています。

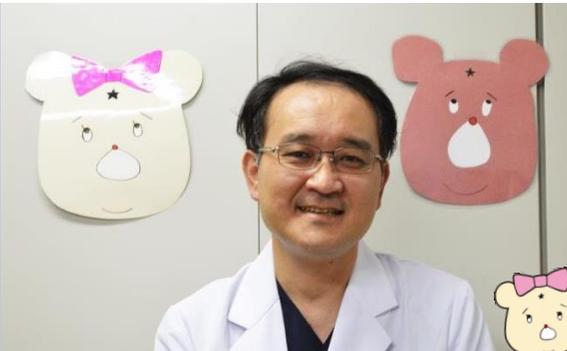
Eさん、どうもありがと～！
病院の受付にアンケート箱を用意しているの、みんなも答えてくれたらウレシイな～



新入職員のご紹介

自分や自分の家族だったらどうして欲しいか？
常に患者さんの立場に立って診療していきたい。

澤田 直樹 先生 (内科)



Doctor Naoki Sawada



そう語る澤田先生は、昨年の10月から北星病院の内科常勤医として勤務されています。日本とアメリカを股にかけて診療と研究をされてきましたが、北海道での勤務は初めてとなるそうです。(澤田先生は北海道出身)

生活習慣病の分野を中心に診療や研究をされているステキな澤田先生～
これからもよろしくお願いいたしますわ～



高橋 千加 さん
栄養科

★ひとこと★

沢山のことを学んでいければと思います。宜しくお願い致します。



村田 舞 さん
栄養科

★ひとこと★

一生懸命がんばりますので
よろしくお願い致します！！



前川 亮太 さん
医事課

★ひとこと★

一生懸命頑張ります。みなさま
よろしくお願い致します。



施設基準取得のお知らせ

2017年1月1日より次の施設基準を取得し、点数の算定を開始します。

後発医薬品使用体制加算3
(入院日1回に限り 28点)

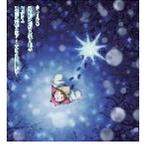
Sakiさん 2年間ありがとう！



イラストレーターSakiさんが手がける表紙は今号でラストになります。

Sakiさん ホントに
今までありがとうね～





★編集長★

中岡 多佳子

★編集スタッフ★

大場 由紀 河端 新 谷内 佳苗 棟方 詩織
千葉 まりえ 内堀 幸乃 向出 泰平
青山 花奈恵 水梨 いくみ 道下 貴裕

★表紙★

Saki Kawabata



★写真★

Kanae Taniuchi

★発行★

医療法人社団いずみ会 北星病院

〒066-0081

北海道千歳市清流5丁目1-1

T E L 0123-24-1121 (代表)

F A X 0123-23-7085

ホームページ

<http://www.hokusei.or.jp>

★お問合せ窓口★

地域連携室 いちばんぼし編集部

T E L 0123-24-1121 (代表)

E-mail msw-renkei@hokusei.or.jp

医療法人社団いずみ会 北星病院の概要

北星病院は昭和38年の開院以来、地域に根差した医療と介護を提供しています。

診療科目

整形外科 内科 リハビリテーション科 リウマチ科 麻酔科

外来医療

診療時間は以下の通りです。

午前の診療 9:00～12:00 午後の診療 13:00～17:00

(受付終了時間 午前 11:30 午後 16:30)

在宅医療

訪問診療 訪問リハビリテーション 訪問看護

訪問栄養食事指導 訪問薬剤管理指導

介護保険サービス

通所リハビリテーション 訪問リハビリテーション

訪問看護 居宅療養管理指導(医師・管理栄養士・薬剤師)

入院医療

2F 一般病棟(40床)

3F 回復期リハビリテーション病棟(50床)

4F 医療療養病棟(50床)

健康診断・予防接種

予約制となっておりますので、お問い合わせください。

一編集後記一

なんとか2回目の冬号を発行することができた安堵感と、この先の不安感が入り混じった編集後記となりました。私は編集長ですが編集のノウハウを学んでいるわけではありません。1月発行のものを実は師走の気忙しい中で考えているわけです。なんだか違和感が…「まあ、素人なのだからしょうがないかっ!」なんて自分をなだめて書いています。

いちばんぼしのファンでもある私は、「いちばんぼし表紙が好き!」なんて言ったら編集メンバーに怒られるかもしれません…そうなんです。毎回表紙が出来上がってくるのを心待ち楽しみにしていました。優しく、心地よくて、夢ややりたいことがいっぱいあった頃の自分を思い出す。そしてもう少し前に進もうかと元気にしてくれる。そんな素敵な表紙です。

いちばんぼしは、Sakiさんのイラストでずいぶん成長したように思います。本当にありがとうございます。ありがとうございました。この冬号でSakiさんの表紙は最後(=卒業)です。(さびしいわ)

さて、この「いちばんぼし」— とある専門機関から広報誌としての評価を頂きました。色々ご指摘いただきました。まだまだ発展途上です。それは今後の課題としてスキルアップしていきましょう!!

ホクマンくんも大きく育てなきゃ(栄養を蓄えるより放出するほうが多くて…)この先のことを考えていたら、そもそも、はじめのコンセプトはなんだっけ?「欲張らない」「楽しいから」「無理しない」「ブレない」私はいつまで…etc私の頭の中にこんな言葉が飛び出してきたっ!

2016年も春・夏・秋・冬と4回発行できました。取材に協力してくれた職員の皆様、読んで下さった皆様ありがとうございます。職員向けのものですが、患者様からも好評いただきうれしかったです。また2017年も皆様に協力していただきながら、院内広報誌としてプラスになる情報を微力ではありますが提供できるよう取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いします。